

松戸市食品ロス削減推進についての報告書

(令和5年度版)

学校財務課（学校給食を通じた啓発）

事業名称	学校での啓発
事業内容	授業を通じた啓発
実績	市内24校（小学校15校・中学校9校）



家庭科や学級活動の授業で、食品ロスについて考えたり、好き嫌いせずに食べることが健康につながることを考えたりして、給食をしっかり食べる事の大切さを伝えました。授業の実践後は残菜が減り、児童・生徒が残さずしっかり給食を食べようとする姿が多くみられました。

環境業務課（食品ロスとして廃棄された生ごみのリサイクル）

事業名称	生ごみ処理容器等購入費補助金制度
事業内容	生ごみ処理容器等を購入し、かつ設置した者に対し補助金を交付する
実績	基数 283 基 補助金額 3,483,700 円 (コンポスト 64 基、EM 容器等 6 基、電気式 213 基)

生ごみ処理容器等購入費補助金制度

対象者

次の要件に該当する方で、容器等を購入し、設置した方が対象になります。

1. 市内に住民登録があり、実際に居住している世帯主の方
2. 堆肥化及び減量化された生ごみを自己の責任において処理できる方
3. 市税の滞納がない方
4. 松戸市暴力団排除条例（平成24年松戸市条例第2号）第2条第3号に規定する暴力団員等でない方

補助金額及び基数

コンポスト容器・EM菌等使用容器

購入価格の2分の1相当額（100円未満切捨て）。
6,000円が限度で1年度中2基まで補助対象

電気式生ごみ処理機

購入価格の3分の1相当額（100円未満切捨て）。
20,000円が限度で1年度中1基まで補助対象
※容器等はいずれも新品に限ります。（中古品、転売品は対象外です。）
※ふるさと納税の返礼品は対象外です。
※ポイントでの支払額は補助対象外です。実際に負担した金額に対して補助します。

市 HP より

コンポスト容器
設置型（屋外）

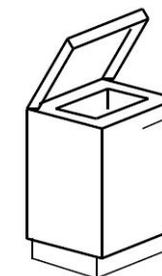


EM 菌等使用容器

コンポスト容器
バッグ型（屋内可）



電気式生ごみ処理機



廃棄物対策課（食品ロスとして廃棄された生ごみのリサイクル）

事業名称	学校給食残渣資源化事業
事業内容	市内小中学校 30 校から排出される給食残渣（調理くず・食べ残し）を豚等の飼料として資源化する。
実績	資源化量 129,090 k g



廃棄物対策課（食品ロスとして廃棄される食用油のリサイクル）

事業名称	廃食用油回収事業
事業内容	家庭から出される使用済みの食用油をバイオディーゼル燃料の原料としてリサイクルする。
実績	回収量 1,085ℓ

廃食用油回収事業について

更新日：2024年4月1日

お知らせ
 関係の営業終了に伴い、今年6月31日をもって出光ガソリンスタンド、有限会社森島製油(松戸市小岩)まで回収される油の回収を終了しました。

使用済み食用油を燃料に
 松戸市は戸田建設株式会社と協力し、家庭から出される使用済みの食用油をバイオディーゼル燃料(BDF)の原料としてリサイクルするため、平成22年4月12日から食用油回収事業を実施しております。

回収する場所及び時間
松戸市役所 新緑地下1階（守衛室前）
 曜日：月曜日から金曜日（祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）除く）
 時間：午前8時30分から午後5時まで

ENEOSガソリンスタンド 株式会社/総店
 曜日：月曜日から土曜日（年末年始を除く）
 時間：午前8時から午後7時まで
 電話：0473-63-2211
 住所：松戸市小岩本1-6-203



回収する油の種類
 家庭で使用済みとなった天ぷら油・サラダ油や、消費期限切れ等でいらなくなった食用油を回収します。油は液体の植物性のものに限り（固めたものは除外）。

- 禁止物**
- なたね油、コーン油、ごま油、红花油、オリーブオイルなど
 - ※持ち込めない油（以下のものはリサイクルできません）
 - 動物性油（バター、ラードなど）・パーム油、ヤシ油
 - 事業所から出た油（灯油や軽油など、食用油以外の油）

出し方
 使用済みの油は、こしきで軽くこしてから、ペットボトル（500mlリットルから2,000mlリットル）に入れ、しっかりとキャップを締めて回収場所にお持ちください。
 ※未開封の油については、そのままの状態で回収場所へ。



廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	環境・ごみに関するパネル展示
事業内容	環境月間に市庁舎で実施されたパネル展にて、食品ロスの削減についても啓発する。
実績	開催期間 令和5年6月7日～6月23日

展示の様子



環境政策課と合同で実施した環境月間のパネル展にて雑がみの分別推進、無許可回収業者を利用しない等の啓発とともに、食品ロス削減について啓発

廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	啓発マグネットの配布
事業内容	食品ロス削減のポイントとして知られる冷蔵庫確認を推進するため、冷蔵庫貼付用マグネットシールを作成し配布する。
実績	配布枚数 29,000枚 配布時期 令和4年6月～



市役所内関係部署窓口、各支所、市民センター、各イベント、市内のスーパー・ドラッグストア等のクリンクル協力店（一部）で配布中

廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	クリンクルキャラバン（市民説明会・パートナー講座）
事業内容	市内各所にてごみに関する市民説明会やパートナー講座を開催し、その中で食品ロスの削減についても啓発する。
実績	開催回数 5回 参加者数 81人

市民説明会の様子



ごみ減量のポイントのひとつとして食品ロス削減を啓発
説明会資料の食品ロスに関する頁

食品ロスの削減について

食品ロスとは・・・

本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。
日本では、年間522万トン以上（日本人一人当たり、毎日お茶碗一杯分（約113g））の食品ロスが発生しているとされます。

松戸市から発生した食品ロスの量(推計値)



家庭系可燃ごみの量（松戸市）
年間約63,000トン
うち食べ残しや手つかず食品等の食品ロス5.2%
⇒年間約3,300トン

食品ロス削減のためにできること

買い物	保存	調理
<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物前に冷蔵庫などをチェック ・ 食べられる量だけ買う ・ 手前に陳列されている物を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存方法に従って最適な場所に保存 ・ 冷凍や乾燥等の下処理をしてストック ・ 期限の長いものを奥に、短いものを手前に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残っている食材、期限の短い食材から使う ・ 食べきれぬ量を作る ・ 定期的な整理日を設けて、食材を上手に食べきる

★10月は食品ロス削減月間
★10月31日は食品ロス削減の日

廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	環境学習
事業内容	小学4年生を対象とした環境学習を開催し、その中で食品ロスの削減についても啓発する。
実績	開催回数 6回 参加者数 453人

ごみ減量のポイントのひとつとして食品ロス削減を啓発
環境学習資料の食品ロスに関する頁

しよくひん 知ろう！食品ロスのこと

- **食品ロス**ってなんだろう？
⇒もともとは食べられるはずなのに
すてられてしまう食べ物のこと
- 日本で発生している食品ロスの量は・・・



しよくひん 食品ロスをなくすには・・・

- **買い物**に行く前に、冷ぞう庫に何が入っているかかくにんする。
- **食べ**きれる量を買おう。
- **食べ**残しをしない。



廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	市内イベントにおける啓発
事業内容	六実桜まつりで、3Rや食品ロスに関するクイズを実施した。
実績	日時：令和6年3月31日（日）10時～12時 場所：六高台さくら通り



3Rクイズ



毎日、一人あたり
お茶碗1杯分の食べ物が捨てら
れてしまっている



○ か × か ?

こたえ



日本では年間500万トン以上、
国民一人あたりだと毎日「お茶
碗1杯分（約114g）」の
食品ロスが発生しているよ。
食品ロスを無くすために、**食べ
残しをしない**など、小さなこと
から始めてみよう！

